



自分らしさを活かして、 社会活動に参加する

～さあ、みんなでボランティアに参加しよう！～

医療法人社団 珠泉会
グループホーム つつじの夢

古川 みゆき



【はじめに】



【取り組みの目的】

- 認知症を呈していても、社会活動に参加する場を提供し、ご入居者の生活をより充実したものにしていく
- 地域のボランティア活動に参加することで、「誰かの役に立つ」ことを実感し、自信と尊厳を取り戻す
- いきいきと活動するご入居者の姿を通じて、地域の方に、認知症に対する理解を深めていただく



【ボランティア活動①】

★地域清掃活動（春・秋）
～昭島市環境課に登録～



散歩コースの休憩ポイントの
花壇を清掃しています

【ボランティア活動②】

★切手整理（毎月1回）
～昭島切手整理部～



使用済み切手を切り出し、
しおり作成のお手伝い

【ボランティア活動③】

★こどもまつり（5月）
～輪なげブース設営～



手作りの景品も準備

【考察・まとめ】

- 認知症を呈していても、周囲のサポートがあれば、主体的な生活を営み、地域社会に出て行くことが可能
- 社会活動に参加する事で、尊厳や達成感を得る
- 何かの役に立ったり、誰かの役に立っていると感じる事が、生きていく上での心の支えになる（＝生きがい）
- 認知症の方が、いきいきと活動している姿を見ることで、認知症への理解が深まる





「住み慣れた地域のより良い環境で、
自分らしく暮らし続けることができる社会」に
一歩でも近づくきっかけになったら幸いです。



ご清聴ありがとうございました

